

我P連新聞

第3号
我孫子市
PTA連絡協議会
市内小中17校

我P連理事会開催

市内小中17校による理事会が

開催されました

2月17日(土)に、アビスタホールにて、市内小中17校の校長先生とPTA会長が集まり、我P連理事会が執り行われました。開会に先立ち、役員会も行われ、会場準備と理事会進行の確認がされ、定時丁度に、理事会開会となりました。



17校の校長先生とPTA会長が集まりました。

東葛ブロック会議

松戸市P連主催 (松戸市民会館)



松戸市・流山市・柏市・野田市・鎌ヶ谷市・我孫子市、6市の市P連会長・副会長が参加

- 東葛P連 バレーボール大会について
- ◇R6年度主催市・・・野田市
- ◇開催場所・・・我孫子市市民体育館
- ◇トロフィー等老朽化のため、更新を検討
- 県P理事会報告
- ◇各種コンクール等の各都市定数について
- ◇日P対応の現状について
- ↓千葉県Pからの要望を提出
- ◇県P研究大会いちほら大会について
- ↓研究発表・「松戸市P」「我孫子市P」
- ◇匝瑳大会について・・・教育会館で開催
- 意見交換
- ◇各市Pの工夫や現状、次年度について

【議題①】県P連主催事業について

- 三行詩コンクール(中学生の部)において、白山中・櫻井昊政さんの作品が千葉県代表作品に選出されました。
- 家庭教育作文コンクールにおいて、湖北台東小学校PTA会

長・金児美佐保さんの作品が最優秀賞を受賞しました。

- 健全育成標語コンクールにおいて、教育作文に続き、湖北台東小PTA会長・金児美佐保さんの作品が優良賞を受賞しました。

これらの受賞については、県

受賞作品



P令和6年度定期総会にて表彰式が行われます。

- 三行詩
「お茶碗の米粒一つも残しません 曾祖母から祖母へ 母から僕へ」
- 家庭教育作文
「みんなで見守り育てる」
- 健全育成標語
「ながらより 目を見て対話 大切に」

【議題②】東葛ブロック会議について

●2月10日(土)に松戸市民会館において、東葛飾地区PTA連絡協議会の東葛ブロック会議が開催されました。我P連からは、寺内我P会長、金児副会長が参加しました。↑詳細は上記に記載

R6年度我P連活動について

各役割分担は立候補を優先

- ◆R6年度役割分担ローテーションについては立候補を優先する予定
- ◆会議議事録などを必要とするため書記を追加予定
- ◆各委員(保護者が委員となる会議に出席)については、総会で決定

【R6年度事業計画(予定)】

※場所等の都合で変更となる場合があります。

- 2024年
- 5/12(日)役員会・定期総会
 - 5/15(土)Pバレーキャプテン会議
 - 7/7(土)役員会・定期総会
 - 8/18(日)バレーボール大会
 - 県Pコンクール応募作品募集 等

【議題③】我P連バレーボール交流大会結果報告

●8月20日市民体育館にて開催された、Pバレー交流大会について報告がありました。来年度からは、東葛大会と県P大会につながる予選会となる事が報告されました。

【議題④】市主催各会議報告について

●小中学校保護者が委員となる会議について報告がありました。

【議題⑤】R6年度事業計画について。詳細は右記に記載

【議題⑥】R6年度我P連役員について

●役割分担については、立候補者がいる場合はそちらを優先することを確認しました。

●我P連令和6年度予算(案)について確認しました。裏面へ

会長達からのメッセージ

令和5年度が終わろうとしています。

それぞれの思いを込めて、会長の皆さんからメッセージです。



湖北台西小学校
寺内会長

PTA活動は、ボランティアです。ですので、活動に、これが正しくてこれが間違っているって言う事がそもそも無いんです。答えが無いものに対して、ビジネスの様にメリットや存在意義とか考えるのがおかしい。出来るときに出来る範囲でやれば良いと思います。自分がやっている、湖北台西小学校のPTA会長職もそうです。我孫子市PTA連絡協議会の会長もそうです。メリットや存在意義で引き受けてないです。自分が会長職をやっている理由は地元への恩返しです。自分自身が湖北台西小学校出身、湖北台中学校の野球部出身です。とても御世話になったので出来る範囲で恩返ししようと思ひ引き受けました。なので、大変ではないです。結論、誰でも出来ます。簡単です。覚悟とか、いらないです。普通に大丈夫です。各校の会長の皆さんは単位の学校の会長職をされていて、少なからず各学校でリーダーをされていますのでそのリーダーシップを遺憾なく発揮していただければ大丈夫です。

自分なりの結論としては、「PTAは仕事じゃないから、そもそも規約なんてない。メリットだってない。ボランティアだから、メリットをそもそも求めるのがおかしい。PTAって、時にはめんどくさい事があるけど、どこかで子ども達の為にと思っ、学校と一緒に活動する。そして、我孫子市のPTA会長同士が足並み揃えて頑張っていこう！」次年度の我孫子市PTA連絡協議会は所属している湖北台西小同様、シンプルに「楽しく笑顔で活動がモットー。」で活動していこうと思ひます。そうすれば、我孫子市PTA連絡協議会も新しい風が吹くのではないかと思ひます。自分みたいなPTA素人でも我P連の会長職が出来るというのを、また来年1年間かけて市内の小中学校の会長達に見てもらい、誰でも我P連の会長が出来るというのを理解してもらい、良い体制で次世代の方に引き継いで行けたらと思ひます。出来る範囲で無理なくお子さん達の為に、自分の良心に沿って楽しく活動して行きましょう。



我孫子中学校
吉川会長

新型コロナウイルスの感染対策の規制が緩和されたことで、生徒たちの生活や学校環境の変化に、うまく対処できるか心配でした。また、コロナ禍では下火になっていたインフルエンザの感染者も急増し、学校行事の日程が変更となることもありました。今年度はW感染のリスクを負いながら学校行事を手伝い、進めることができ、正直ほっとしています。来年度は生徒たちの学校生活の形がもっと変化していくと予想されます。その変化に対応しながら、学校側といろいろ協議を行い、本部役員の活動をもっと軽減し、特定の人がやるのではなく、誰でもできる活動内容にしたいですね。また、PTAバレーがコロナ禍の影響で衰退傾向にあるので、各校の交流を盛んにしたり、楽しい大会にしたりして盛り上げていきたいです。



根戸小学校
山崎会長

私が根戸小のPTA会長になったのは4年近く前の4月。もうすぐいよいよ会長就任という時期に、世の中は緊急事態宣言ですっかり静かに。前会長が4月に入ってすぐに、一部の委員会を除いて委員会活動を全て中止します、と宣言して私に引き継ぎました。そうは言っても、最低限やることはやらないといけないし、次年度へ引き継いでいかなければならない。さらにパンデミックの中、どうするの？どうしようか？と悩み続ける日々。常に「そもそもPTAとは何か？」を考え続ける日々でした。各委員会がやっていたことを、やれる範囲で本部役員が担っての運営をしました。その年度、我P連の活動もなくて「こういう時こそ必要なんじゃないの？他の学校がどうしてるのか知りたいし、相談し合えたらいいアイデアが出るかもしれないじゃん」そんなモヤモヤした気持ちをかかえて1年を過ごしました。次年度、我P連の活動が再開すると、そんなモヤモヤした気持ちを、私はぶつけました。頭の片隅に「こんなものなら辞めてやる」と脱退することをいつでも出せるように置きながら。それから徐々に我P連が存在する意味を問いながら、コロナ禍でもやれることを無理なくやっていくようになりました。特にそんな中で行われた夏のバレーボール交流会は、他の学校とのつながりも生まれるし、やっぱりこういう行事は大事だよー、と我P連があることの意味を感じさせるものになりました。今年度は事務局が我孫子市役所生涯学習課に移り、市との連携が始まりそれを活かしていったことが印象に残っています。市長、副市長との会談、市教育委員会の教育長をはじめとする方々との会談など、今までにはなかった活動でした。こういったことが、いつ起こるともわからない緊急事態が起きた時に「どうしたらいいのだろう」と各校だけで悩まず、一緒に課題解決をしていくことにつながると、個人的に大きく期待しています。

昨年5月に我P連の事務局を引き継いでから約1年経ちました。我P連、県P連に関する事務、又、今年度は千葉ポータルで、今年度は千葉ポータルで行われた研究大会など、想像していた以上にやる事が多かったですが、寺内会長を始め、役員の皆様にご協力頂きながら何とか1年間をやり切ることができました。来年度についても、久しぶりにバレーボール大会が開催される等、今年度同様に予定が盛り沢山となりまので、遅滞、連絡漏れ等無いように事務局として取り組んでいきたいと思ひます。来年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

事務局から



湖北台東小学校
金児会長

今年度は色々な経験をさせて頂きました。我P連の活動を情報発信・共有したく、「我P連新聞」の発行を試みたり、PTA研究大会での分科会運営、東葛ブロック会議への出席、他市P連の方々との交流はとても勉強になりました。色々な話の中で、コミュニケーションと情報発信、情報共有は大切なんだと改めて気づかされました。単Pでは、楽しく和やかに活動できているので、次年度も、その時々に合わせて形で方向修正したり、役員の方々の意見を取り入れながら、校長先生を始め、教職員の先生方と協力し合う活動を楽しんでいきたいと思ひます。